

はじめに

高齢化の波は、日出町においても他の市町村と同じように進んできています。高齢者をはじめ多くの方が、疾病を抱えても自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療及び介護の提供を行うことが必要になってきます。このため、多職種協働により医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため医師会等と連携しながら、町内の関係機関の連携体制の構築を図らなければなりません。

日出町では平成25年度に「日出町在宅医療連携推進会議」を立ち上げ、直接、現場で抱えている課題等に対し意見を交換することにより、お互いに顔の見える関係を作ることが、連携の基盤の第一歩になると考えました。また、その会議の中やアンケート調査を行った結果、情報共有のためのツールが欲しい、との要望が多くありました。

そこで、在宅医療連携の拠点整備に、平成23年度より先進的に取り組んでいる別府市医師会が作成した「在宅医療連携ガイド」を参考にして、日出町版のガイドブックである『日出町在宅医療・介護連携ガイドブック』を作成しました。将来的に同じ医療圏域内である別府市との連携も見据えて、内容や項目については別府市医師会が作成した形式を用いることにいたしました。

今後は、この連携ブックを日出町における地域包括ケアシステム構築のための主要ツールとして、また、関係機関に所属する多職種の方々に活用していただくことで医療・介護情報の「見える化」を促進し、日出町民が安心して暮らせる町づくりのために大いに役立つことを期待しています。

日出町役場 介護福祉課
日出町在宅医療連携推進会議